

学校教育専攻

●専攻の教育理念と教育目的

本課程は、学士課程で培った資質能力を基礎とし、学校教育にかかる高度な実践的指導力を持ち、自己の使命と責任とを自覚し、自律的に社会に貢献する専門的職業人の育成を使命としています。そのため、学生は、学校教育に対する社会のニーズと自己の学習課題・研究課題を意識しつつ、学校教育に関して高度な専門的知識を習得し、それをもとに学校教育をめぐる現代的諸課題への対応方策を適切に考え、高い技能と豊かな表現力をもってそれを実践する力を培います。

●専攻のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針、修了時に必ず身につける能力)

<態度>

1. 高度な実践的指導力をもった専門的職業人として、自己の使命と責任とを自覚し、自律的に社会に貢献することができる。

<関心・意欲>

2. 学校教育に対する社会のニーズと自己の学習課題・研究課題を明確に意識し、実践を省察しつつ先導的に学習し研究することができる。

<知識・理解>

3. 学校教育に関連する諸科学に関して高度な専門的知識を習得している。

<思考・判断>

4. 学校教育をめぐる現代的諸課題について、幅広く専門的な知見をもとに、その対応方策を適切に考えることができる。

<技能・表現>

5. 教育にかかわる高い技能と豊かな表現力を身につけ、高度な実践的指導力をもって教育活動に取り組むことができる。

●専攻のアドミッション・ポリシー(学生受け入れの方針、入学時に問われる能力)

学校教育専攻は、授業実践、生徒指導、学級経営などに専門的力量を持つ教員の養成、学校・園等におけるミドルリーダーの養成、学校・園・地域社会等において子どもの発達への支援に関わる専門家の養成を目的としています。そのため、教職や発達支援専門職に携わることを目指している人や現職教員等で、教育課程、授業実践、学級経営、学校経営、学校教育や教職のあり方、生徒指導、教育相談、子どもの学習と発達に強い関心を持ち、自らの教育実践力や専門的指導力の向上を目指している人を求めています。

●専攻のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

カリキュラムの概要

共通に履修すべき「学校教育の今日的課題」と「フィールド演習」に加えて、専攻の共通基礎科目として「教育課程・授業実践に関する領域」、「生徒指導・教育相談に関する領域」、「学級経営・学校経営に関する領域」、「学校教育と教職のあり方に関する領域」、「子どもの学習と発達に関する領域」のそれぞれの科目を履修し、さらにそれぞれの領域の発展科目を選択履修します。これらで培った研究関心は、「課題研究」を通して修士論文に結実させます。